

特別山行記 大多摩ウォーキングトレイル 2023/8/28



チャーターバスに距離・時間制限が導入されてからこちら、8月の山選びが難航しているので、今年はお試しに電車で行ってみることになりました。当番班は決めず、特別山行として役員が企画・実行を担当しました。

行先は「大多摩ウォーキングトレイル」と名付けられた道。東京都西端の奥多摩駅～古里駅間を、多摩川をはさんで青梅街道とほぼ並行して続いており、8.2km、休憩を含めてコースタイム4時間の道程で、軽めのハイキングです。

JR 津田沼駅始発 6:07 の各停電車で、津田沼駅から船橋駅まで参加者8名が2両に分かれて乗車しました。ちょうどよい具合に離れて、全員座れたので良かったと思います。大勢がまとまるとどうしてもおしゃべりに花が咲き、迷惑な老人団体と化してしまいがちですので。



奥多摩駅には 9:16 に着き、9:30 に歩き始めました。夏の強烈な日差しを浴びながらしばらくは車道歩きが続きましたが、25 分ほどの所で階段を下りて里道に入りました。葛の花の写真を撮ったり、民家のまだ青い柿を眺めたりしながら進むと、地図どおり数馬峡谷遊歩道です。短いトンネルを抜けると山側の崖に、私たちが待っていてくれたようにイワタバコの花が咲いていました。



遊歩道は先年の豪雨災害でかなり被害が出たようですが、崩れた箇所は安心して歩けるよう、丁寧に補修されていました。やがて川幅が広くなり、ダムで堰き止められた白丸湖にさしかかりました。座るのにほどよい湖畔の大岩を見つけて、サップに興じる若者たちを見ながらおやつタイム。

再出発して白丸ダムの堰堤から魚道を見下ろした後は、いよいよ鳩ノ巣溪谷に差し掛かります。大小の岩の間を縫って流れる多摩川を見下ろしながら鳩ノ巣小橋を渡り、滝のそばの涼しい日陰でお弁当にしました。



食後は 12:00 に出発。ここからは松の木尾根まで短い上りの後、古里の集落に向かって 100m の高低差を下りていきます。途中民家がひっそりと建っていたり、滝がいくつか流れていたりして、なかなか面白い山道でした。

立派な寸庭橋に出てからは 25 分ほどの車道歩きで、13:25 古里駅に着きましたが、次の電車は 14:05 までありません。例のごとく近くのコンビニでゆっくり喉を潤して渴きと疲れを癒し、この日の山行を終えました。 (M.S 記)